

平成 29 年度花修景計画【この資料は（案）です。変更の可能性があります】

○平成 29 年度の花修景における基本方針

◇利用者繁忙期に花期を合わせ、珍しい品種や見せ方の工夫をすることで花の魅力で集客や満足度向上を目指す。

- ・春、(4月下旬から5月上旬、G・W) 夏(8月中旬、お盆期間)、秋(9月下旬から10月上旬、)を1年間の重点期間とし、公園で植栽したことのない新しい品種や珍しいものを植栽することで平成 28 年度とは違った演出を図る。

◇いつでも花が鑑賞できる公園であることを目指す。

- ・重点期間以外の期間も花修景をおこない、いつ来園しても花が咲いている場所をすることで、利用者満足度向上に努める。

◇公園の資源や特徴を生かし、花を植えるだけではなく在来の花木や野草を使い、魅力を引出すことで植物で楽しめる公園づくりを目指す。

- ・公園にある様々な花木や野草も花修景の一部として、目に付く場所への移植や新規植栽を行い、地域に溶け込んだ風景づくりをおこなう。

○季節の花修景

◇春の花修景

チューリップ花壇(演出強化)

実施時期 4月下旬から5月上旬

- ・22万球を予定。また、遠望すると線で見えていたチューリップの色を面で見せるため、面積を増やし法面にも花壇の増設を行う。
- ・珍しい品種の「アイスクリーム」や「ダブルアローサ」を追加し話題作りを行う。



チューリップ花壇



アイスクリーム

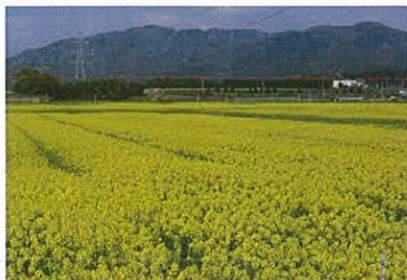


ダブルアローサ

大規模ナノハナの植栽(新規提案)

実施時期 4月下旬から5月上旬

- ・新規開園エリア(里山文化ゾーン)のほぼ全面を使ったナノハナ畑を実施。一面黄色一色で見ごたえのある花修景を行う。



ナノハナ畑イメージ



キザキノナタネ



## ◇夏の花修景

### 穂高口花壇（演出強化）

実施時期 6月から7月（初夏花壇）

- ・初夏花壇のテーマは「涼」として、リナリア等を使い花の色で虹を表現する。



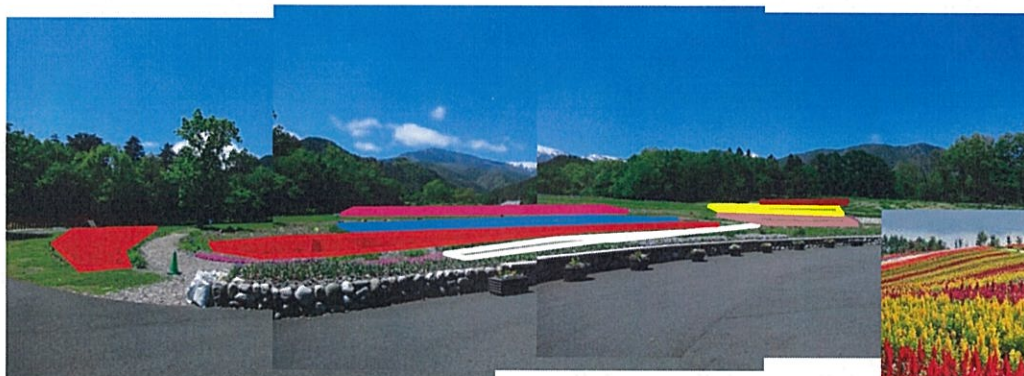
初夏花壇色イメージ



リナリア

実施時期 8月から10月（夏秋花壇）

- ・夏秋花壇のテーマは色をはっきり出した「ボーダー花壇」
- ・撮影台を設置し、上からの景色も楽しめるポイントを設置する。
- ・サルビアやケイトウ等※穂高口ゲート広場付近を予定



夏秋花壇色イメージ



ケイトウ

### 水上花壇（演出強化）

実施時期 7月下旬から9月下旬

- ・平成28年度800株を使った水上花壇を1000株に増やすことで集客を図る。
- ・立体にしたピラミッドが好評だったことから、数を増やすとともに高さがあるプランターを設置して立体的に見せる工夫をする。



サンパチェンスイメージ



立体プランター



壁面緑化風植栽



## ヒマワリ迷路（新規提案）

実施時期 8月中旬

- ・3000㎡のヒマワリ迷路をつくり、夏休みに楽しんでもらう。
- ・いくつかの品種を取り入れ、ヒマワリの違いで楽しめる演出も検討する。



ヒマワリ迷路イメージ



ヒマワリ「ソニア」高さ2m前後



園路脇植栽用「小夏」高さ30cm



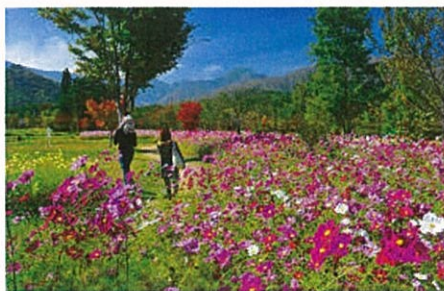
ゴッホのヒマワリ

## ◇秋の花修景

### コスモス花壇（演出強化）

実施時期 9月下旬から10月下旬

- ・25種類に増やし、チューリップ花壇で増えた面積600㎡を使って演出を強化する。
- ・今まで使用したことのない「シーシェル」「スルフレースドワーフカーペットレッド」を使用することで話題性を強調した演出も行う。



コスモスフェスタ



シーシェル



ドワーフカーペットレッド

### 三期地区秋の花修景（新規提案）

実施時期 9月下旬から10月下旬

場所：懐かしの風景エリア

実施内容：秋の七草を園路周辺に植栽し、大きくまとまって見せるとともに、菊を使った演出で絨毯状に見せる演出をする。長野県で生産量1位の花弁（トルコキキョウ等）を使った花の演出をする。



菊を使った花修景イメージ



菊の種類例

### ◇冬の花修景

アイスチューリップの庭・ナノハナの庭（演出強化）

実施時期 1月上旬から2月下旬

- ・昨年 10000 球だったアイスチューリップの数を 12000 球に増やし、1月初旬から展示して早い春を感じてもらおう演出を行う。



アイスチューリップの庭状況



ナノハナの庭状況